

8. 現職教育

1. 小規模校「加太小学校」のすがた

加太小学校が「小規模特認校」指定を受け、本年は2年目となる。全国的にも小規模校・へき地校が統廃合の対象となる中、まず私たち加太小学校の姿を確認しておきたい。

大規模校と比較して一般的に小規模校は次のようなマイナス面があるとされる。

- ①固定化された関係性の中で学校社会生活を送るため、競争心が少なく、馴れ合い的になり、コミュニケーションや社会性が低い。
- ②少人数の中では多面的に思考することが難しく、特に学習面や委員会等の活動時の話し合う場面での深まりを得にくい。
- ③複式による学習指導では教師によらない間接指導の時間が生まれ、単式の指導に比べ習熟に差が生まれる。

しかしこれらマイナス面を掲げるあまり、小規模校が有する可能性を自ら閉ざしてしまっていないだろうか。つまり小規模校のもつ可能性や特性を確信し、子供たちにそれらに自信をもって「生きる力」として伝え生かしていく指導ができているのだろうか。小規模校としての加太小学校を問い直してみたい。

改めて現代の子供たちの姿を確認すると、以下のことが言える。

- ①ネット社会の中で希薄な人間関係から遠くの同質者と交流を求める傾向がある。身近な異質者との協調意識が希薄化し、信頼関係を作れない。
- ②異年齢、異世代交流が減少し、地域社会活動及び高齢者等との交流が減少している。同級生と交流できても、異世代との人間関係が苦手となっている。
- ③自然とのふれあいや自然体験・生活体験・集団遊び等の原体験の減少。これは体験的・実感的な認識が低下し、問題解決方法もバーチャル化している。

「これからのへき地・複式・小規模校教育」2022 北教大 玉井康之
つまり、未来を生きる子供たちは現在、信頼を基盤とした人間関係力・コミュニケーション力・集団的チーム力・具体的解決力が低下しているといえる。人間関係は、形式的な関係性だけでなく、信頼関係を基盤にすることが不可欠なのである。

ここで小規模校の可能性や特性に目を向けてみたい。小規模校が成せる教育とは、子供と教師の強い信頼関係および学校と地域の協働性を基盤にして、異学年活動・自然体験活動・地域探究活動等を通じて、個に応じた教育活動・自立的な学習活動・リーダーシップ教育等を推進し、もって社会に開かれた教育課程と生きる力を育成しやすい教育ということが出来る。実際に小規模校は個の出番が多く、全員をリーダーにしやすい。また複式指導・間接指導経験者は、自学自習の習慣を含めて、自分で行動する子供が多

い。つまりは「令和の日本型学校教育」として求められている学びに向かうこと（本校現教4/12提案）が、そのまま小規模校の可能性や特性を生かした教育を実践することと重なってくるのである。

また私たち加太小学校教員に求められていることは、この小規模校の強い関係性を元にした教育をメリットとして自覚すること、そして子供たちに伝えていくことが重要、ということである。

2. 研究テーマの設定と理由

そこで私たちは小規模校のメリットを「子供たちに伝え」る手段として、前述した「小規模校のマイナス面」を「小規模校の可能性や特性」から克服する方向（子供の可能性を引き出す）を考え、「自分たちで学習を進めることができる力」（＝個に応じた教育活動・自立的な学習活動・リーダーシップ教育）を子供たちに育むこと、またその方法や手段を研究テーマに盛り込み、取り組んでいこうと考えた。

一方で加太小学校は長年にわたり、「地域」と共に、「地域」と一体となり教育活動を進めてきた。今年度も引き続き児童が「地域」に親しみ、「地域」を知り、「地域」と共に学ぶことを大切にしたい実践に取り組んでいこうと考えている。地域の「人」「もの」「こと」（地域素材）を取り入れながら、長年にわたり取り組んできているもの（加太の学び）、児童の学びに直結させてきたもの（教科横断的な学び）、児童の学びを繋いできたもの（主体的・対話的な学び）など、さまざまな資源を題材とした活動を、より深い学びに結びつけられるようマネジメントしようと考えている。

【研究テーマ】

子供の可能性を引き出す「加太っ子スタイル」の創造 ～加太「地域素材」との協働・共有～

そこで次の4点を中心に研究実践を進めたい。

- 「自分たちで学習を進めることができる力」を支える「加太っ子学びのスタイル」の創造と共有
- 「加太ストーリー（地域素材を教材化し、教科横断的に系統図を示した年間単元指導計画）」の作成
- 体験活動の充実
- 研究授業公開

3. 校内研修年間計画

		第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	実施予定イベント
4月	日	5日	12日	19日	26日		
	職会	(春休み) ・年度初め職員会議		・教育計画見直し①	・教育計画見直し② ・川上交流会提案		・委員会活動開始
	現教		・現教の進め方 ・研究主題と研究内容	・研究実践の具体①	・研究実践の具体②		
5月	日	3日	10日	17日	24日	31日	
	職会	憲法記念日	・教育計画最終確認		・水泳指導計画提案		・たてわり活動開始 ・春の遠足(23日)
現教	・特別支援教育①		アレルギー実技研修	・救急救命法			
6月	日	7日	14日	21日	28日		
	職会		・通知票(評価)	加太ブロック 人権教育研究会 (総会・講演会)			・加太海開き(2~4時開目) ・社会科見学5年
	現教		5・6年公開授業		あおぞら学級公開授業		
7月	日	5日	12日	19日	26日		
	職会		・夏休みの生活について	・学級事務	(夏休み)		・川上村合宿 ・クラブ活動 ・個人懇談会 ・夏祭り
	現教						
8月	日	2日	9日	16日	23日	30日	
	職会	(夏休み)	(夏季特別休暇)	(夏休み)	(夏休み)		・スポーツ祭提案①
	現教	・地域学習研修					
9月	日	6日	13日	20日	27日		
	職会		・スポーツ祭提案②				・学習参観・懇談会 ・(市)教職員課訪問 ・修学旅行
	現教	・加太ストーリー交流会 ・全国学調分析	・特別支援教育②	3年生公開授業	1年生公開授業		
10月	日	4日	11日	18日	25日		
	職会	避難訓練提案	・加太っ子スポーツ祭②	(市)教科等別研修①			・加太っ子スポーツ祭 ・県学カテスト
	現教				指導案検討会議①		
11月	日	1日	8日	15日	22日	29日	
	職会		・加太の子	(市)教科等別研修②			・学習発表会 ・クラブ活動
	現教	指導案検討会議②	4年生公開授業		指導課訪問 2年生公開授業		
12月	日	6日	13日	20日	27日		
	職会	加太ブロック 人権教育研究会 (分科会)	・学級事務	加太っ子文化祭提案 (冬休み)			・市音楽会
	現教			・冬季休業について ・研究収録編集について			
1月	日	3日	10日	17日	24日		
	職会	(冬休み)	・特別支援教育④	・避難訓練提案	・加太っ子文化祭②		
	現教						
2月	日	7日	14日	21日	28日		
	職会	・6年生を送る会提案	・卒業式提案①	・教育計画反省①	・教育計画反省②		・加太っ子文化祭
	現教			・来年度に向けて①	・来年度に向けて②		
3月	日	6日	13日	20日	27日		
	職会		・3月職員会議 ・春休みの生活	・学級事務	(春休み)		・縄跳び大会 ・卒業式
	現教						